

授業科目 臨床技術学総合演習

【担当教員名】 追手 隼、戸島 知之、土屋 康雄、中村 藤夫、尾崎 京子、長濱 大輔、 生駒 俊和、牧口 智夫、川村 宏樹、大山 富三、池上 喜久夫、浅井 孝夫		対象学年	4	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【一般目標：G10】 臨床技術者として必要な臨床工学と臨床検査学の知識について課題演習を通じて修得の到達度を確認し、苦手分野・重点分野を自己認識し、必要な知識を修得する					
【行動目標：SBO】 1. 臨床工学分野課題を総合的な知識を用いて説明することができる。 2. 臨床検査学系分野課題を総合的な知識を用いて説明することができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	医学概論・臨床医学総論課題演習	1, 2	到達度確認試験		
2	生体機能計測装置学課題演習	1	到達度確認試験		
3	医用治療機器学課題演習	1	到達度確認試験		
4	医用機器安全管理学課題演習	1, 2	到達度確認試験		
5	医用電気電子工学課題演習	1, 2	到達度確認試験		
6	生体機能代行装置学課題演習	1	到達度確認試験		
7	医用機械工学・生体物性材料工学課題演習	1	到達度確認試験		
8	臨床検査総論課題演習	2	到達度確認試験		
9	臨床生理学課題演習	2	到達度確認試験		
10	臨床化学課題演習	1, 2	到達度確認試験		
11	病理組織細胞学課題演習	1, 2	到達度確認試験		
12	臨床血液学課題演習	2	到達度確認試験		
13	臨床微生物学課題演習	1, 2	到達度確認試験		
14	臨床免疫学課題演習	1, 2	到達度確認試験		
15	公衆衛生学課題演習	1, 2	到達度確認試験		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		必要に応じて資料を配布する。			
【評価方法】 期末試験 100%で評価する。		【履修上の留意点】 臨床技術学の知識の総まとめであるため、履修科目を十分復習したうえで課題演習に取り組むこと。			